

3年学年だより 第10号

第一回実力テストを終えて・・・

初めての実力テストの結果が返ってきて、「やばい…」と思った人も多かったのではないのでしょうか？ たしかにこのままではいけませんね。今やるべきは、自分の間違えた問題（自分の苦手）をなぜ間違えたか、どこがわからないのかを見つめなおし、同じミスを繰り返さないように心がけることではないのでしょうか。反省も大切ですが、くよくよしている暇はありません。次の実力テストやその先の進路に向かって、今自分に必要なことはなんだろうかと考え行動してください。

まわりの人が…とか、行事が…とかいうのを盾にして自分を守ってはいけません。

自分の弱さと向き合っていきましょう。応援してるから!!

☆度数分布☆

点数	国語	数学	理科	社会	英語
90-100	0	1	1	1	8
80-89	0	2	1	0	11
70-79	2	14	7	6	12
60-69	8	13	11	10	16
50-59	11	16	15	10	14
40-49	26	20	16	16	18
30-39	27	19	23	25	18
0-29	31	20	31	37	8
平均	37.2	46.9	41.8	37.5	56.7

☆提出物・申し込みなど

- ①三者懇談の調整用紙 6/28(金)
- ②進路希望調査 6/25(火)
- ③修学旅行申し込み用紙 7/5(金)が早期購入割引の締め切り

※期間が過ぎても購入できるそうです。

☆第一回実力テストの講評☆

《国語》ほとんどの人が厳しい結果になったのではないのでしょうか。テスト返却の際にお知らせしましたが、出ている点数と実際の解き方に差はありませんか？たまたまあてずっぽうで書いた記号が合って、思ったよりも点数が高かった！だから大丈夫！みたいになっていませんか？本当に大事なことは、「これはこうやって考えたから間違った」や「ここはたまたま合っていたけど、本当はこう考えなければいけなかった」とあとから振り返って考えることです。範囲が決まってないから、国語はその場で読み取るから、だから勉強しなくていい、という訳ではありません。問題を解くには根拠が必要です。読み取るためには技術が必要です。解答を書くためには多くの言葉をしていなければいけません。全て自分のため！その気持ちで次に臨んでくれることを期待しています。

《英語》学年平均56点に安心してはいけません・・・という話をテスト返却時にしました。覚えてますか。今回の出題範囲の9割が1年既習事項、残り1割が2年既習事項。この項目について、今自分が出来ていることを示すのが今回の点数（素点）です。ということは1年生で学習した内容をどれほど習得できているのか・・・冷静に今回の結果を受け止める必要があります。次回の実力テストの範囲は、2年既習事項ほぼすべてです。今日から、自分の弱点を克服すべく、復習していかなければなりません。効果的な復習方法は、1年生の教科書から復習していくことです。各プログラムの英文と日本語をプリントにしたものを、Teams→3年全体→一般→ファイル→英語授業の中に随時更新していきます。教科書を復習することで、入試に必要な英単語と英文法を同時に身につけることができます。その際に大事なのが、音読すること。日本語を見ながら英語を言う作業を何十回、何百回と積み重ねてください。この復習方法をぜひ本気でやってみてください。

《社会》手もとに返ってきた答案を見てみましょう。1、2年生の学習内容がどれだけ身につけているかがわかります。全体的に、地理、歴史ともまだ十分に基本事項が定着していないように感じられました。一方で、字数指定で答える問題には、自分なりに考えて解答しようとする答案が多く見受けました。さて、この実力テストに向けて、前もって学習に取り組んだ人はどれだけいたのでしょうか。定期テストとは異なり範囲が広いので、勉強の仕方に戸惑う人もいたかもしれませんね。『まとめ問題集』の要点の確認を復習に使ってみるのも良いでしょう。実力テストは今後3回予定されています。あきらめてしまわず、復習に取り組んでいきましょう。質問はいつでもどうぞ。

《理科》解答を見ていると、過去に正答率が良かった問題もわすれちゃっている人が多かったですね。忘れることは全然よくて、テスト前に忘れてるか忘れてないかをちゃんと確認できているかがテスト結果を左右すると思います。今回はそんな事前準備ができている人は少なかったのではないのでしょうか。次回は期待していますよ!! また、今回の実力テストでできなかったところは、必ずできるようにしましょう。放置した苦手が増えてくると痛い目見るで!!

《数学》復習が追いついていないのではと心配していましたが、計算問題等は正答率が高かったです。1次関数・規則性・証明の問題は正答率が低かったです。自らの弱点を見つけて苦手を克服しましょう。今回の結果に慢心することなく復習に励み、今後の更なる飛躍を期待しています。お疲れさまでした。